

こすど公民館報

発行所 小須戸町公民館
発行人 間野良知
発行日 毎月15日
一部 15円
印刷所 昭栄堂印刷所

勤協囲碁将棋大会

初心者も歓迎。多数ご参加下さい。
日時=1月22日(日)
午前9時30分～
会場=中央公民館2階
主催=勤労者協議会

更に力強い 前進を

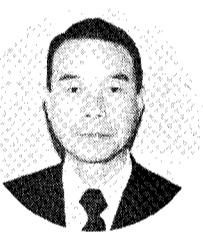
公民館長 間野良知



全町の皆さん、新年おめでとうございます。私は今年の元旦、マラソンで折り返しから降りしきる雨の中を百五十余名の参加者が勇ましく走る姿を見て、一句を得ました。雨をつくマラソンに、年明けにけり、良遊不況という雨の中を、耐久走で頭張り抜く郷土小須戸町の姿を象徴するような気がしてならなかった。生涯教育と銘うった社会教育はその根本は行政と一体になった町づくり運動であります。豊かで明るい美しい郷土を実現するために、私たちはいろいろな学習やスポーツ、レクリエーション等を通してお互いに教養を高め、健康を保持して全町の連絡親和をはかることとあります。幸い、本町にはそうした運動を推進する多くの社教関係団体があり、公民館やスポーツ施設を十分に活用しながら立派な成果を挙げております。特に昨年新たに結成さ

年頭の

教育長 今井一夫



明けておめでとう。教育に対する国民の関心は年を追って高まっています。特に昨年は見切り発車・落ちこぼれ・小中高の七五三・切り捨て・足切り等々あまたかも流行語のように巷に

あけまして

- 町長 五十嵐重雄
- 助役 榎田奈賀雄
- 収入役 上田友男
- 町議会議長 佐藤加志
- 副議長 中野一夫
- 町議員 他議員一同
- 教育委員長 岡田六衛
- 委員 川瀬弘一、久代田長、名沢、農協組合長、梅津英五、商工会長、白井、連合老人会長、松沢、PTA会長、佐藤、青年団連絡協議会長、渡辺
- 社教委員長 橋原一夫
- 中学校長 今井真次
- 小学校長 成田常信
- 小須戸小 矢代田小 克巳
- 高校主任 桜井猛
- 消防団長 高野嘉一
- 警察所長 青野貞吉
- 小須戸郵便局長 山口敬一
- 小須戸支店長 保科清
- 欠代田支店長 名沢重
- 電報電話局長 岡田六衛
- 久代田支店長 名沢重
- 農協組合長 梅津英五
- 商工会長 白井
- 連合老人会長 松沢
- PTA会長 佐藤
- 青年団連絡協議会長 渡辺
- 河内与己可
- 渡辺欣二
- 長谷川邦芳
- 米田東吉
- 河内与己可
- 渡辺欣二
- 長谷川邦芳
- 米田東吉

緊急対策本部を解散

交通安全運動大きく前進

町民を交通事故から守るため、昨年八月三日以後に大きな期待が持たれておりました。青年学級や長寿大学、その他の各種講座・教室等も着実に歩みを進め、町民の交通安全意識を高めました。町民運動会や文化祭も例年になく多くの参加者を得て、名実ともに大成功でありました。ふりかえる昨年は本当によい年であり、充実した幸せな年であったように感じました。輝かしい昭和五十三年今そのスタートから踏み出したのでありますが皆さんのより大きなご理解ご協力を賜わり、不況克服耐久走の中の社会教育を力強く前進させたいものと希う次第であります。

水上交通

柏 大治

いままら、空に陸に交通に不便を感じないのに、と若い人はいいます。昔、筆者等が若いとき「うそつく」と聞かされた舌ぬかれるぞ」とよく聞いたものです。先日有難い文書を頂きました。二百有余年の古建築すま風よけのベンチ板に記す。(註) 法果吹きや調子合わせを封じるお守りにと、画が描かれています。これは印刷です。他は印刷です。老境に入ると、うそつくと言われかねる。うそをつくと、筆者は舌をぬかれるところまでいって、いらないと思いましたが、「水上交通」には、もやもやして一人一人で県立図書館や大学の小村武先生や、新瀧の郷土研究家の所へ何回も行きましたがわかりません。明治初年、東大寺から文書が六世紀頃の本を発見されて、「不明」名前を忘れました。これが日本霊

思想の普及に務め、交通安全対策を推進することにしていきます。特にこれからの冬の交通事故防止対策としては、交通安全運動を構成し、冬期間における重点事故防止対策に取り組みます。この時期は道路事情が悪くなり、飲酒の機会が多くなることから、スリッパ事故防止と飲酒運転の追放には運転者の自覚はもちろん、周りの人も十分注意し、事故防止に務めましょう。特に飲酒運転追放には友人や妻子の力が大きいものです。地域ぐるみ家庭ぐるみで悲惨な飲酒運転事故をなくしましょう。人も車も冬の道

昭和52年 小須戸町の交通事故発生状況 ()内は51年の件数

事故別	月別												合計	増減率	
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月			
人身事故	発生件数	(2)	(2)	(1)	3	(3)	4	(1)	4	(1)	2	1	3	25	△19.4
	傷者数	(3)	(2)	4	1	3	5	5	1	6	2	1	3	31	△11.4
	死者数													2	(1)100.0
物損事故	件数	8	9	5	2	5	6	3	2	1	9	7	6	63	6.8

異記、当時文学博士がきようきしたいとわられて、筆者の風土記は田中四郎、間野良知氏皆さんの協力で三回発行されています。風土記とあわせて読んで下さい。矢代田の「きしや」を追いやつたとも記された株主二人でも書きました。法果吹きや調子合わせを封じるお守りにと、画が描かれています。これは印刷です。老境に入ると、うそをつくと、筆者は舌をぬかれるところまでいって、いらないと思いましたが、「水上交通」には、もやもやして一人一人で県立図書館や大学の小村武先生や、新瀧の郷土研究家の所へ何回も行きましたがわかりません。明治初年、東大寺から文書が六世紀頃の本を発見されて、「不明」名前を忘れました。これが日本霊

体力づくり運動第一弾！

小雨の中、百五十名が参加し盛況！

第六回元旦マラソン大会



昨年一年の町民体力づくり運動の成果を占う大切な大会とあって、関係者の熱の入れようは大変なものであったが、その苦勞が報われるすばらしい大会となった。さて、今年行われる各種大会の成果はいかに？



昨年一年の町民体力づくり運動の成果を占う大切な大会とあって、関係者の熱の入れようは大変なものであったが、その苦勞が報われるすばらしい大会となった。さて、今年行われる各種大会の成果はいかに？

をテーマに行われたこの第六回大会が成功に終わったことにより、今年度の体力づくり運動に大きな期待がもてる。関係者一同大いに喜んで、主催された体育協会役員、体育指導員の皆さんをはじめ、お手伝い下さった皆さん大変ご苦勞さまでした。また、交通整理にあられた警察所及び交通指導隊の皆さんに心から御礼申し上げます。

あなたはスポーツをしてみますか？
運動は、自分自身のための体力づくりです。例えは何の目的もなくただ歩くだけなら、何れも歩いてみただけなら、効果はあきません。目的とリズムをもって運動しましょう。

両者合わせて百五十名の老若男女が見事走りました。中には傘をさして走るゆとり？ さえ見せる選手もありました。大会終了後、全員が中央公民館三階大ホールにおいて、恒例の甘酒とミカンでつるぎ、全員に参加賞と個々のタイムを書き込んだ記録証が手渡されました。「自分の体力を見つめなおし、ゆとり走り」

よいこにサンタのプレゼント
ライオンズクラブ
小須戸ライオンズクラブ(矢部会長)では毎年保育園や幼稚園のごどもたちにクリスマスプレゼントを行っているが、今年も去る十二月二十三日、本物のサンタの衣装で訪問。本町の三保育園と幼稚園、小台西保育園と上ルテール幼稚園を訪れ、沢山のプレゼントを手渡ししましたが、ごどもたちからは、歌やお遊戯の歓迎を受け、いつもながらの楽しい交流が行われました。サンタの皆さんご苦勞でした。

托鉢による浄財を

町の福祉へ寄託

町の仏教会による歳末助け合い托鉢が、去る五日間に渡って行われ、年毎に町民皆さんのご理解とご協力が高まっています。不況時にもかかわらず昨年を五万円余上まわす二五、三、三五、四五の浄財のご寄託をいただきました。

さっそく町長さんを通じて町社会福祉協議会へ寄託し、不幸な方々のために使っていただくようお願いいたしました。例年の事ながらこの托鉢行を通して感謝を覚える場面が何回もありました。一年がかりで貯めた五十円十円の硬貨を袋いっぱいに出される方、家中留守なのにお米を玄関口におかれるお宅、不在を詫言ながら後を追って来てご喜捨をされたお婆さま、道中で合掌しながら高額の紙幣を箱に入れて下さった見知らぬ人等々、本当に人の世の情や有難さ

入学前の健康診断
昭和五十三年度入学生児童の、入学前健康診断を次の日程で行いますので、入学児童のおられる方は忘れずに受診されるようお願いいたします。
なお、就学予定者には近く案内が届くことになっておりますが、もし該当者で通知がない場合は役場教育委員会へ至急ご連絡下さい。
小須戸小学校
一月二十四日(火) 午後一時
◇矢代田小学校
二月三日(金) 午後一時三十分
※この健康診断は、児童の入学後の保健指導や健康管理に役立てるためのもので、必ず受診して下さい。

家庭教育学級
家庭教育の始まりは幼児から、学校からは遅くとも、小須戸幼稚園に入学後、開校された熱心な学級生四〇名余りが参加し十二月二十六日開講式と学習会が行なわれた。級長に阿達華子さん各地区より阿達華子さんの組織作りを行った。学習会では「幼児の心と家庭教育」と題して、五泉教育委員会の大家正勇先生の講演にうなずきながら熱心にメモをとる学級生は、家庭教育の大切さを感じたにちがいない。これからの活動として、座談会や講習会など学級生同志のつながりを深めながら、楽しく学習を進めていく予定である。

長寿大学案内
一月後半
一八日(水) 民謡
二〇日(金) 陶芸
二二日(水) 園芸
二四日(金) 書道
二六日(日) 料理
二八日(火) 読書
三〇日(木) 陶芸
三一日(水) 園芸
二月前半
一日(水) 読書
三日(金) 陶芸
五日(日) 園芸
七日(火) 書道
九日(木) 民謡
十一日(土) 園芸
十三日(日) 書道
十五日(火) 民謡
十七日(木) 園芸
十九日(土) 書道
二十一日(日) 民謡
二十三日(火) 園芸
二十五日(木) 書道
二十七日(土) 民謡
二十九日(日) 園芸
三十一日(火) 書道

青年通信
青年の山閉山式行
小須戸町勤労青年学級
恒例の青年の山閉山式が去る十二月二十五日に行われた(写真下)。これは記念文集の披露も兼ねたパーティで、終始和やかなふんいきの内に終わった。
・青級恒例のスキー教室が来月十九、二十日に行われる予定。
行先は須原スキー場。

子どもクイズ
さあ、考えて？
つぎの問題の□の中に答えを書いて公民館へ。答え・住所・氏名・学年をハガキで送って下さい。
ハガキをハッパキして正解者の中から五名の方に賞品をお贈りします。
一問 二月三日は□で豆まきを行います。
二問 二月八日は□供養の日です。
三問 二月十日は□の記念日で祝日です。
前号の正解は
一問 みそか 二問 年三問 初
抽選の結果、次の方々へ賞品をお贈りしました。
矢代田 田代 美加二
本町五 加藤 健一
中央四 川瀬 和代五年
鎌倉 板谷 和美六年

家庭教育学級
家庭教育の始まりは幼児から、学校からは遅くとも、小須戸幼稚園に入学後、開校された熱心な学級生四〇名余りが参加し十二月二十六日開講式と学習会が行なわれた。級長に阿達華子さん各地区より阿達華子さんの組織作りを行った。学習会では「幼児の心と家庭教育」と題して、五泉教育委員会の大家正勇先生の講演にうなずきながら熱心にメモをとる学級生は、家庭教育の大切さを感じたにちがいない。これからの活動として、座談会や講習会など学級生同志のつながりを深めながら、楽しく学習を進めていく予定である。

購入図書
◇隆元のはだか交友録 細川 隆元
◇黄金の日 城山 三郎
◇青春の門 墮落篇下 五木 寛之
◇日本人とドイツ人 藤田雄次郎
◇湯 松本 清張
◇ジョーイ リチャード・ベック
◇独りきりの世界 石川 達三
◇最後の極道狂説法 今 東光
◇わだつみ一・二・三 井上 靖
◇白き狩人 渡辺 淳一
◇続・私は13才 草 鹿宏
◇密会 安部 公房
◇スターウォーズ G・ルスカー
◇もう一つ別の発想法 竹村 健
◇深代惇郎エッセイ集 深代 惇郎

家庭教育講演会を開催
多数ご来場下さい
内容「小・中・高校生と親との心のふれあい」
講師 新潟県中央児童相談所 花藤正夫先生
日時 二月五日(日) 午後一時三十分
会場 中央公民館三階大ホール
主催 在住高校生保護者協議会・教育委員会

あらたま
中央町三丁目 我妻 清作
初朝の諏訪の宮居の直土に明かり差しつゝ、
風花の舞ふ

十二月旬会報
小須戸町伊同好会
揺るほどに心士あたらし午旁揺る
こぼりし鉢木の霜を流しけり
語ることなくて夫婦の咳き合はる
状差しに溢るゝ書状十二月
犬の足跡新しき冬河原
朝刊のチラシの厚み師走入り
黒雲にはこぼれて来る雪しぐれ
身に合うて母の手編みのちゃんちゃんこ
欠伸せし犬やさくららの返り花
冬の陽矢あるところ河口のみ
野辺送り戻る近道枯蓮田
人踏まぬ暮地の裏側落葉ため
焼手の匂ひポケットの銭数
柿の種吐き出す猿や園小春
鳥賦むいて長引く風邪と思ひおり
雪止みし月の夜更けに泉鳴く
寒湯やペレー吹飛ぶ石廊崎
初みくじ大吉といふは凶とかや

十二月旬会報
小須戸町伊同好会
揺るほどに心士あたらし午旁揺る
こぼりし鉢木の霜を流しけり
語ることなくて夫婦の咳き合はる
状差しに溢るゝ書状十二月
犬の足跡新しき冬河原
朝刊のチラシの厚み師走入り
黒雲にはこぼれて来る雪しぐれ
身に合うて母の手編みのちゃんちゃんこ
欠伸せし犬やさくららの返り花
冬の陽矢あるところ河口のみ
野辺送り戻る近道枯蓮田
人踏まぬ暮地の裏側落葉ため
焼手の匂ひポケットの銭数
柿の種吐き出す猿や園小春
鳥賦むいて長引く風邪と思ひおり
雪止みし月の夜更けに泉鳴く
寒湯やペレー吹飛ぶ石廊崎
初みくじ大吉といふは凶とかや

十二月旬会報
小須戸町伊同好会
揺るほどに心士あたらし午旁揺る
こぼりし鉢木の霜を流しけり
語ることなくて夫婦の咳き合はる
状差しに溢るゝ書状十二月
犬の足跡新しき冬河原
朝刊のチラシの厚み師走入り
黒雲にはこぼれて来る雪しぐれ
身に合うて母の手編みのちゃんちゃんこ
欠伸せし犬やさくららの返り花
冬の陽矢あるところ河口のみ
野辺送り戻る近道枯蓮田
人踏まぬ暮地の裏側落葉ため
焼手の匂ひポケットの銭数
柿の種吐き出す猿や園小春
鳥賦むいて長引く風邪と思ひおり
雪止みし月の夜更けに泉鳴く
寒湯やペレー吹飛ぶ石廊崎
初みくじ大吉といふは凶とかや

十二月旬会報
小須戸町伊同好会
揺るほどに心士あたらし午旁揺る
こぼりし鉢木の霜を流しけり
語ることなくて夫婦の咳き合はる
状差しに溢るゝ書状十二月
犬の足跡新しき冬河原
朝刊のチラシの厚み師走入り
黒雲にはこぼれて来る雪しぐれ
身に合うて母の手編みのちゃんちゃんこ
欠伸せし犬やさくららの返り花
冬の陽矢あるところ河口のみ
野辺送り戻る近道枯蓮田
人踏まぬ暮地の裏側落葉ため
焼手の匂ひポケットの銭数
柿の種吐き出す猿や園小春
鳥賦むいて長引く風邪と思ひおり
雪止みし月の夜更けに泉鳴く
寒湯やペレー吹飛ぶ石廊崎
初みくじ大吉といふは凶とかや